バリューチェーンにおける強みと提供価値

私たちは社会から求められる環境価値を提供するために、廃棄物処理とリサイクルの分野において、「オールダイセキ」で事業活動を展開しています。これにより顧客の幅広いニーズに一貫した対応を行いながら、環境創造のあらゆるステップで収益を生み出しています。ここでは、ダイセキグループのバリューチェーンの強みと生み出される価値、今後の課題について説明します。

	商談・分析	収集運搬	中間処理	再資源化・製品化	コンサルティング・技術提供
	丁寧なヒアリングと分析・評価により、顧客の潜在的なニーズを引き出しながら、産廃処理やリサイクル製品利用時の環境課題を抽出します。	廃掃法等の法令を遵守しながら、顧客の要求に応えられるように、確実かつ安全な収集運搬を行います。	廃棄物等を性状や化学的性質に合わせ、中間処理施設で安全・確実な無害化・減量化とCO_2削減に貢献します。	顧客の廃棄物等を加工し、リサイクル製品を製造します。バージン材の代替となるリサイクル製品を販売することで資源枯渇の防止に貢献します。	顧客の潜在的なニーズ・環境リスクに対し、ダイセキグループの強みを活かした新たな視点から解決策を提案します。
強み	**豊富なノウハウと技術力、幅広いニーズへの提案力** ・幅広い顧客層からの多様な廃棄物等対応実績・ノウハウの蓄積 》P.25 成長を支える資本（社会関係資本） ・専門的な分析機器とスタッフの配備 環境関連分析・研究 ・「オールダイセキ」で関連業務も含めたワンストップサービスの提案が可能	**全国ネットワークを形成、専用大型車両と専門スタッフによる迅速で確実な収集運搬** ・45都府県の産業廃棄物収集運搬業許可証を取得済み。緊急時も対応可能 》P.25 成長を支える資本（製造資本） ・廃棄物運搬に特化した大型車両を多数保有し、多くの協力会社と連携 》P.25 成長を支える資本（製造資本） ・運転と廃棄物引取に関する社内基準をクリアした専門スタッフが対応	**製造資本と技術力を活用した処理量と品目数は業界トップクラス、顧客のCO_2削減にも貢献** ・大規模な活性汚泥施設の運用 》P.25 成長を支える資本（製造資本） ・処理難度の高い廃液を組み合わせて処理しやすくする独自の複合処理 廃液処理・リサイクル ・環境法令に基づく確実な適正処理 ・CO_2排出量が少ない処理技術 カーボンニュートラル	**環境保全と経済性の両立を実現。環境創造への使命感を持つスタッフも強み** ・環境保全と経済性を両立する優れたビジネスモデル 》P.21 価値創造プロセス ・全国平均54.2%（令和4年度実績・環境省）を上回るリサイクル率（89.2%） 》P.07 At a glance ・リサイクル製品の製造や販売に意欲的に取り組む社員の使命感 》P.27 5つの強み（使命感の共有）	**潜在的な環境課題に先回りする提案力と幅広い顧客基盤** ・CDPのAリスト認定企業としての説得力 ・「オールダイセキ」のノウハウと技術力 》P.26 成長を支える資本（知的資本） ・サーキュラーエコノミーの実現を後押しする幅広い顧客基盤 》P.25 成長を支える資本（社会関連資本） ・多くの提案型人財 》P.26 成長を支える資本（人的資本）
生み出す価値	**幅広い事業領域と多様な収益源** ・様々な業種の顧客の環境課題の解決を支援し安定的な収益構造を実現 ・産廃処理の技術力とノウハウを活かし、顧客の課題を迅速に解決 ・廃掃法に基づく契約等も含め、顧客の法令遵守を適切にサポート	**平時・災害時における顧客からの強固な信頼** ・安定したサービス提供で顧客の安定操業に貢献 安全 ・長年廃掃法を始めとする環境法令を遵守し、顧客の信頼を獲得 ・地震や台風等の災害の罹災企業が短期間で復旧できるように支援 ダイセキの実績	**安全・低コストで環境保全とCO_2削減を実現** ・技術力に裏付けされた安全性 安全 ・独自技術で低コストの処理を実現 ・優良産廃処理事業者の信頼感 ・顧客のCO_2削減を支援 ・CO_2排出量が少ない処理技術 カーボンニュートラル	**経済的な資源循環とサーキュラーエコノミーに貢献** ・カスケードリサイクルでバージン材の代替となるリサイクル製品を製造販売し資源枯渇の防止に貢献 ・マテリアルリサイクルのビジネスを推進することでサーキュラーエコノミーに貢献 リサイクル資源	**顧客の本質的な課題やニーズに応え、収益性と環境創造を両立** ・顧客の本質的な課題やニーズを特定したうえで、ダイセキならではの解決策を提案し、顧客価値を創造 》P.15 特集 ダイセキが挑む新たなビジネスモデル ・新しいビジネスモデルを構築し、環境保全、カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーに貢献
課題	・カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーの需要の取り込み ・グループ連携営業をさらに深め、顧客の利便性を向上	・社員の安全と顧客の信頼を獲得するための安全性強化 ・物流業界の人手不足などの状況も踏まえた専門スタッフの質・量の確保	・社員の安全と顧客の信頼を獲得するための安全性強化 ・中間処理コストの低減	・カスケードリサイクルのさらなる効率化 ・マテリアルリサイクルの市場開拓と技術開発	・カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーの需要取り込み ・「オールダイセキ」の推進によるノウハウと技術力の獲得 》P.09 社長メッセージ